

令和元年度 食育推進事業（食と花の推進課及び食育・花育センター分）

令和元年度 食と花の推進課食育関連事業

「食育の日」における普及活動

国は、毎年、6月を「食育月間」、毎月19日を「食育の日」として、食育に関する啓発活動を重点的に実施することとしている。

本市においても、市内小売店及び飲食店の協力により、食育及び食育の日の普及啓発を図るための取組を実施している。

(1) 飲食店における取組（23店舗）

下記の取組を実施

- 食育メニューの提供 ※詳細は下記参照
- 卓上メモの設置
- ちらし、リーフレットの設置
- のぼり旗の掲揚

■食育メニューの提供について

今年度より、取組方法を充実させて実施。

	R元年度	H30年度
メニューの提供	■ ①又は（かつ）②の実施 ①食育の日特別メニューの提供 ②食育メニューの登録・提供	「食育の日」特別メニューの提供
実施時期	① 特別メニュー提供の場合：6月、10月、3月の食育の日（19日）を中心とした日（期間） ②メニュー登録の場合：通年	6月、10月、3月の年3回

① 食育の日特別メニューの提供

・年3回の「食育の日（19日）」を中心とした日（期間）に限定のメニューを提供していただく。主食・主菜・副菜が揃ったメニューを基本とし、野菜の使用量や地産地消に配慮。

②食育メニューの登録・提供

・お店で、通常提供しているメニューの中から主食・主菜・副菜が揃ったメニューを選択し、食育メニューとして登録していただく。
 ・メニューの変更は随時可。

飲食店の取組



令和元年6月の食育の日特別メニュー



令和元年食育メニュー（登録）

(2) 小売店の取組（13社 92店舗）

共通の取組

- ・のぼり旗の掲揚
- ・レシピ、リーフレット等の設置

希望する店舗にて実施する取組（※当課職員が出向き実施）

- ・食育コーナーの設置
- ・SAT システム（体験型食事バランス診断システム）を活用した食事バランス診断コーナーの設置

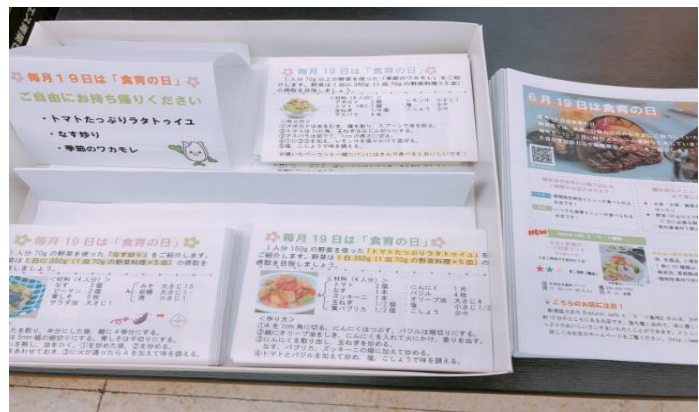
その他、各社独自の取組

- ・食育の日限定で一部野菜の値段を下げて販売
- ・オリジナルレシピの配布

食育コーナーの様子



令和元年6月 ① 地場産食材の集合販売



② ①のコーナーで販売している食材を使用したレシピの配布

食育マスターによる地域での食育の推進

地域での身近な食育活動を推進するため、学校、幼稚園・保育園、自治会、コミ協などの要望に応じ、食育マスターを紹介し、地域における食育を推進する。

2019年度より、登録・派遣制度から登録・紹介制度に変更した。今後も、制度の適正な活用を図り、地域での食育活動の広がり推進を図ることが課題である。

普及資材を活用した取組

こども食育新聞の発行

「えらぶ」「つくる」「食べる」「育てる」の視点で、小学生を対象としたリーフレットを作成。学校に配布し、活用を促す。

今年度は、農産物をテーマにした内容を充実させる予定である。

農業が身近にある環境を活かした、食と農を連動させた取組

(1)「新潟発 わくわく教育ファーム」推進事業

学習と農業体験を結びつけた本市独自の農業体験学習プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」を核として、子ども達に本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとを大切にする気持ちを育み、生きる力を培うとともに、農業を活性化する。



全国初の公立教育ファームの「アグリパーク」等を活用し、市内全ての小学校で農業体験学習を実施



地域の農家等と連携し、一連の米づくりを学ぶ「学校教育田」

(2) 菌ちゃんリサイクル元気野菜づくり

幼稚園・保育園において、野菜くずと微生物を活用した土による害虫が付きにくい元気な野菜づくりをとおして、子ども達の豊かな感性と元気な身体を育む。



持ち寄った野菜くずを小さな菌ちゃん（微生物）が食べやすいように小さくして、土と混ぜます。



3日後の土の様子で、白いモヤモヤが菌ちゃんです。菌ちゃんが野菜くずを食べて発酵した土は温かいです。

令和元年度 食育・花育センター実施事業

料理教室等の企画・運営

- にいがたで生産される米、野菜、果物、魚など本市の特色ある新鮮で多様な食材を組み合わせた調理体験を通じて、「にいがた流 食生活」を推進する。
- 「食育」「食文化」「にいがた流 食生活」「料理方法・技術」などについて、安全に楽しく学べる料理教室を企画・開催する。
- 親子・家族・食文化に関心を持っている方・調理法を学びたい方など、多様な対象者のニーズに応える料理教室を企画・開催する。
- 新潟市食育推進計画に位置付けられている食育推進に関係する各種団体と連携した料理教室を開催する。
- 貸館利用により、外部団体が多様なニーズに応える料理教室を開催できる支援を行う。

主催・共催による料理教室（年間予定 60回）



令和元年 5.26 キッズキッチンー汁二菜



令和元年 5.30 初夏を楽しむ家庭料理

食育ミニ体験等の実施

- 新潟の多種多様な食材・食文化・健康づくり等「にいがた流 食生活」の実践につながるプログラムの体験を通して、子どもたちを中心とした市民の心と身体の健康や豊かな人間性を育む。
- 年中行事や季節感を踏まえ、気軽に・楽しく食や食文化について学ぶことができる「食育ミニ体験」を開催する。（年間予定 60回）

〈食育ミニ体験例〉

野菜のたねをまこう、サンプルを使って食事バランスチェック、おいしい実験室「ジュースってどうして甘いのか?」、即席味噌汁作り、羽釜でごはん～塩おむすび作り～、伝えたいにいがたの味けんさやき作り等

- 主体的に楽しみ、学べる事業として、食育に関する展示やクイズの実施、体験型食事バランス診断（SAT システム）を設置する。

食育ミニ体験（年間予定 60回）





サンプルを使って食事バランスチェック（平成 30 年度の様子）



令和元年 5.25 けんさ焼き作り

イベントでの食育の啓発

- いくとびあ食花各施設と連携して開催する8大イベントにおいて、体験事業や講座などを実施し、食育の啓発を図る。

4月13日(土)・14(日)春いくフェスタ	5月4日(土)・5(日)ゴールデンウィークスペシャル
 <p data-bbox="252 766 734 797">クイズ お米で出来ているのはどっちだ？</p>	 <p data-bbox="959 766 1334 797">伝えたいにいがたの味 ぼっぼやき</p>

〈8大イベント開催予定〉

- 4/13 (土)、14 (日) 春いくフェスタ
- 5/4 (土)・5 (日) ゴールデンウィークスペシャル
- 7/13 (土)・14 (日)・15 (月祝) キラキラフェスタ
- 8/3 (土)・4 (日) 夏休みこどもまつり
- 9/21(土)・22 (日)・23 (月祝) 動物ふれあいフェスタ
- 10/12 (土)・13 (日) 秋の収穫感謝祭
- 12/21 (土)、22 (日) クリスマスフェスタ
- 3/7 (土)・8(日) 春花・舞花

団体体験プログラムの実施

- 小学校・保育園向け団体体験プログラムの実施

学習指導要領の基本的なねらいである「生きる力」の育成には体験活動（学習）が重要とされています。いくとびあ食花では、51の団体体験プログラムと13のアグリ・スタディ・プログラムを用意し、そのうち食育関係は17プログラムあります。食育・花育センターでは年間約50校園にバス代の助成を計画しています。広報は、市内全校園に「団体体験プログラム集」を配布するとともに、HPに掲載しています。



令和元年 4.19 電子レンジでポップコーン



令和元年 6.6 五感を使った食材当てゲーム